

標津川の蛇行復元等について



標津川本川と旧川

標津川の位置



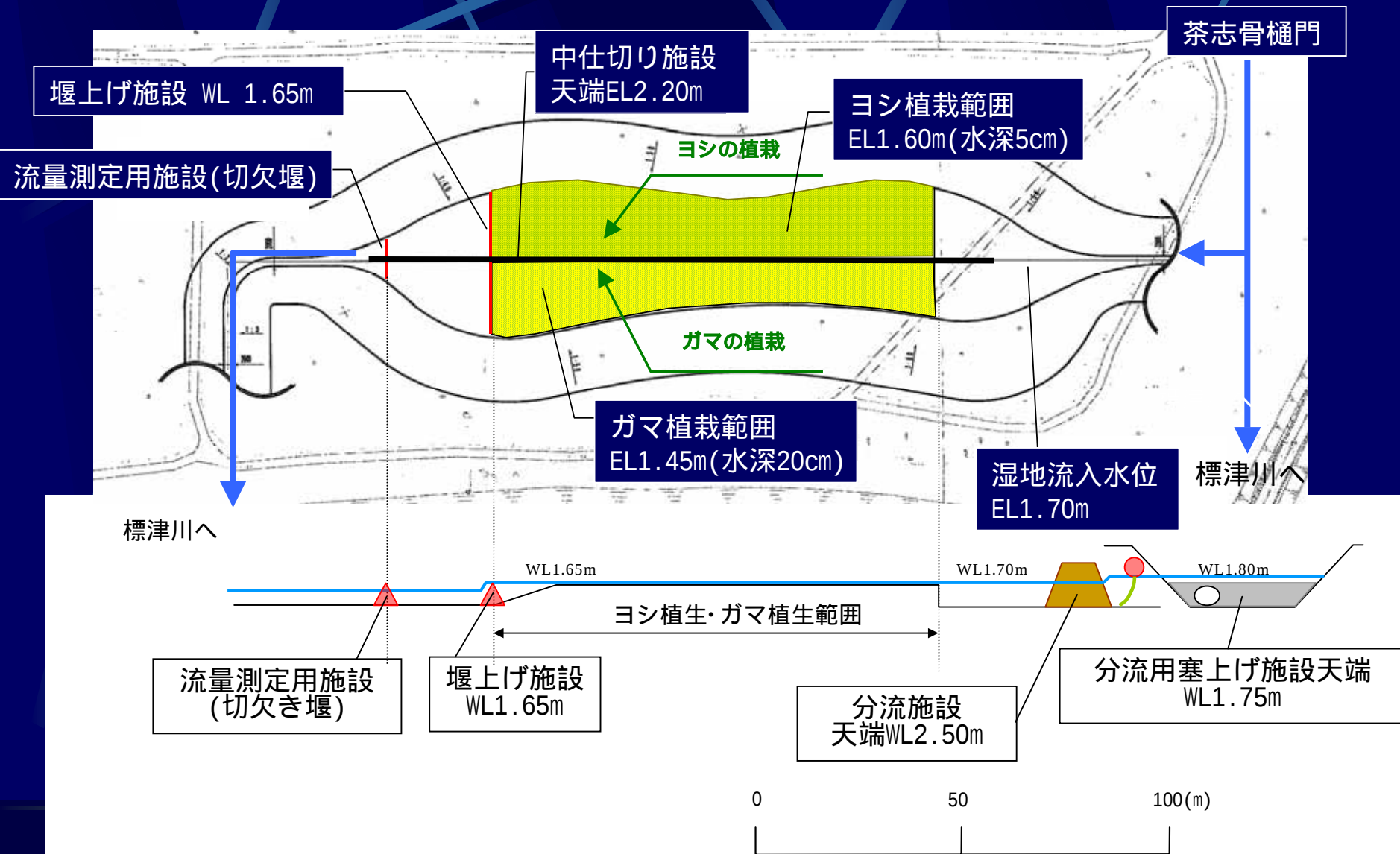
標津川の概要

- 種別：二級河川
- 水系：標津川水系
- 全長：78km （荒川 173 km）
- 流域面積：671km² （荒川 2,940km²）
- 流域関連町人口(標津町、中標津町)：約3万人
（荒川 流域内人口 930万人）

標津川の川づくりの理念

洪水の危険から地域を守りつつ、
できるだけ川を自然な姿に戻そうとする
「自然復元型川づくり」

水質浄化試験地(1)



ガ マ ヨ シ



水質浄化試験地全景
左がガマ、右がヨシに
よる浄化

ガ マ

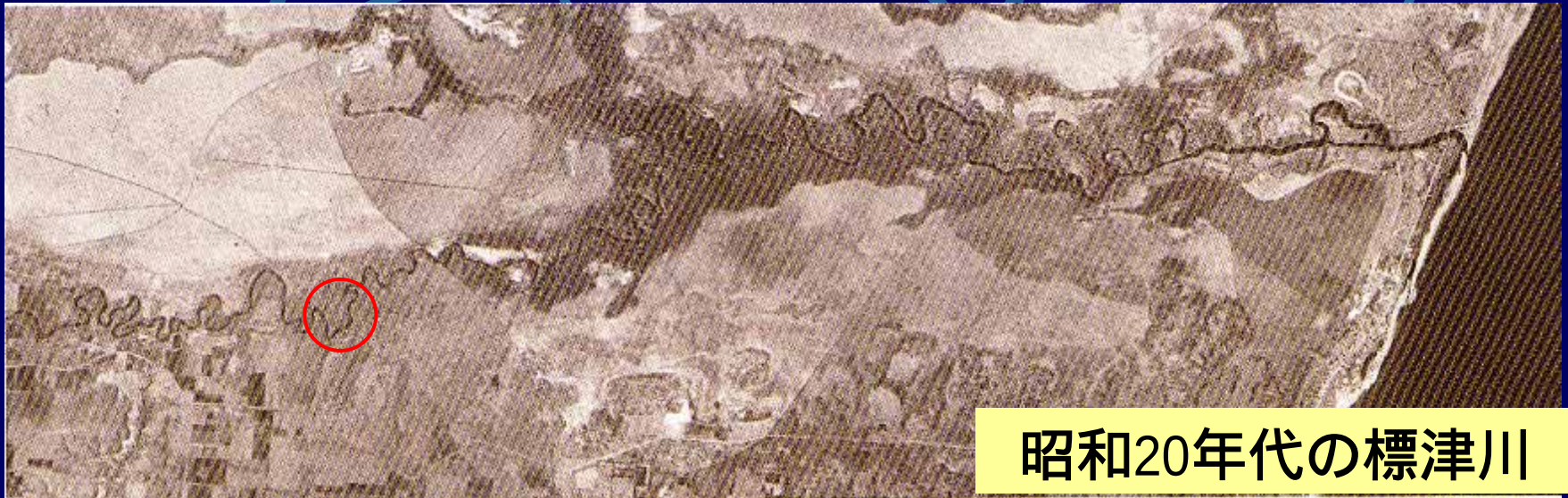


ヨ シ



蛇行復元試験地(1)

目的: 生物が生息しやすい多様な環境の保全・復元



昭和20年代の標津川



蛇行復元箇所

平成7年の標津川

蛇行復元試験地(2)



掘削前 平成11年



通水後 平成14年

- ・旧川を掘削し、本川と連続させた（平成14年3月）
- ・旧川側の河床が高いため、0.5m～1m程度掘り下げるとともに、旧川側へ流入させるために堰上げ施設を設けた
- ・旧川に形成されていた止水環境を保全するため、旧川の奥に鋼矢板で区分した止水域を設けた

蛇行復元試験地(3) 平成14年7月撮影



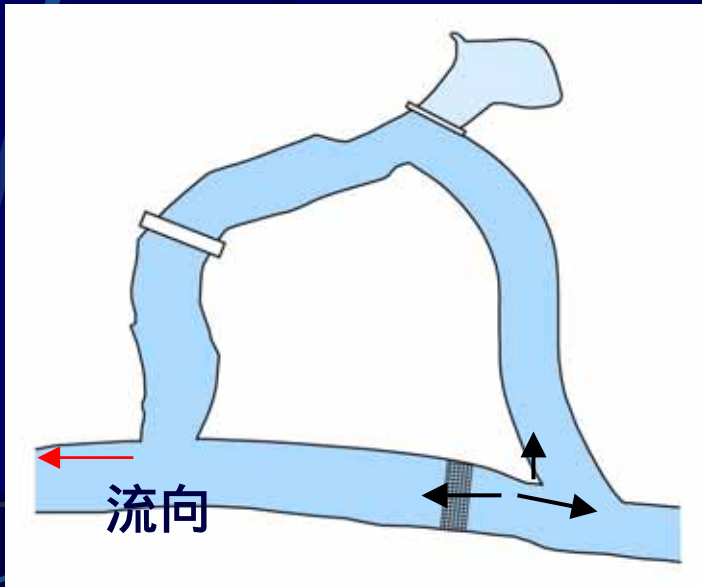
蛇行復元試験地(4)



流入部



流入部から旧川を見る



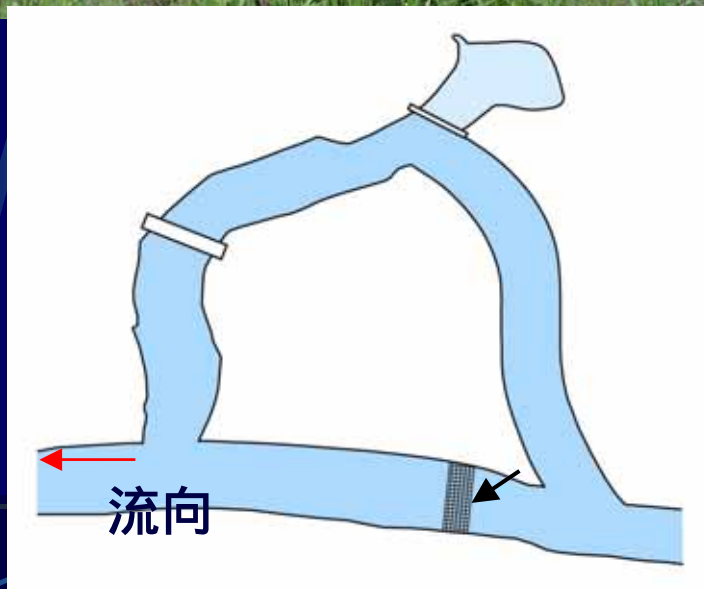
堰上げ施設・下流方向をみる

蛇行復元試験地(5)



堰上げ施設（周囲に土砂が堆積）

平常時は旧川側を流れる。流量が
 $15\text{m}^3/\text{s}$ を超えると本川側にも流れる



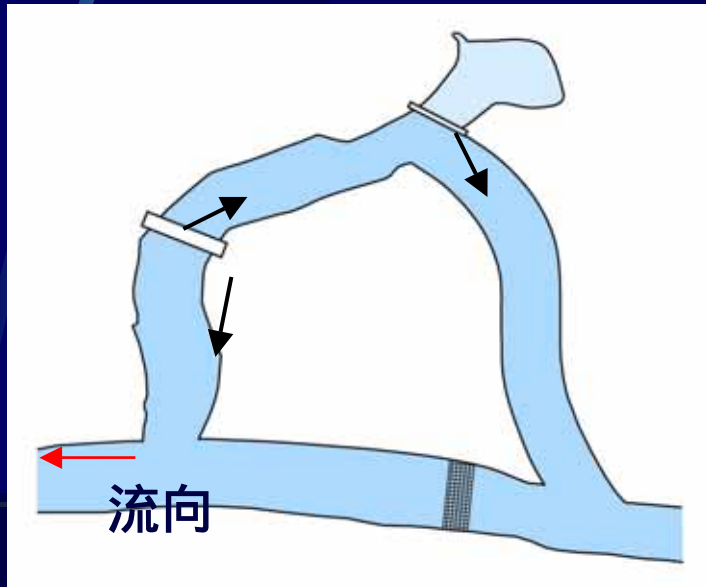
蛇行復元試験地(6)



本川との合流部



旧川・橋から上流方向をみる

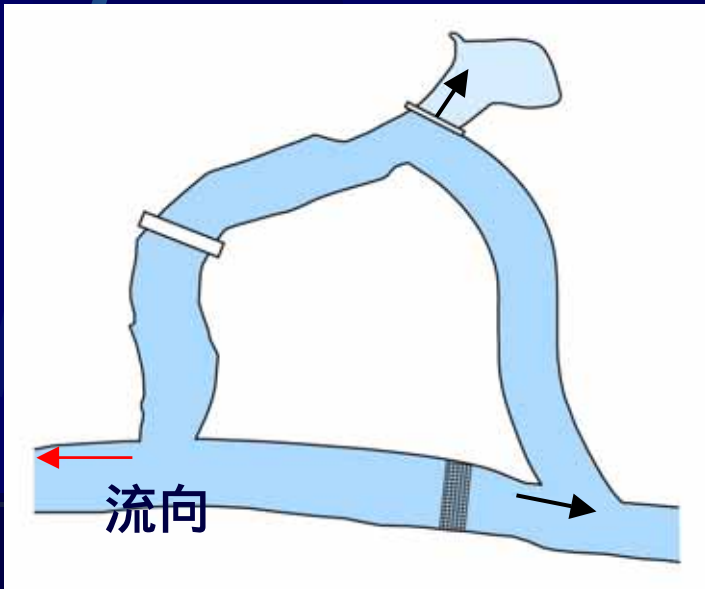


旧川・デッキから流入部方向を見る

蛇行復元試験地(7)



旧川の奥に止水環境を保全



止水環境を形成している矢板

→

